

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	文化財等保管施設の賃貸借	階数	地上2F
建設地	埼玉県飯能市大字飯能字愛宕1000	構造	S造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	20人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,400時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年7月 予定	評価の実施日	2021年1月18日
敷地面積	2,488㎡	作成者	植田 智之
建築面積	1,491㎡	確認日	2021年1月18日
延床面積	2,920㎡	確認者	植田 智之



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.3 ★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★☆☆ 100%超: ☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 1.8**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 1.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.9

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 2.7**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.3

3 設計上の配慮事項

総合	その他
周辺の景観、環境を配慮して、敷地内にバランス良く緑地帯を設け、緑豊かな空間を創出した。	-
Q1 室内環境 特になし	Q2 サービス性能 天井高さの確保した。任意の準耐建築物性能にした。
Q3 室外環境(敷地内) 敷地内周辺にバランス良く緑化を行い環境配慮した。敷地内周辺に空地を設け、敷地内採光を取り入れるように配慮した。	
LR1 エネルギー 断熱材を屋根・外壁に使用し、建物熱負荷抑制に努めた。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含む材料を使用しない。
	LR3 敷地外環境 ガス設備・火気設備(燃焼機器)を無しとして、大気汚染防止に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版
文化財等保管施設の賃貸借**

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									1.8
Q1 室内環境					0.30		-		1.4
1 音環境				1.0	0.15		-		1.0
1.1 室内騒音レベル				1.0	0.40		-		
1.2 遮音				1.0	0.40		-		
1 開口部遮音性能				1.0	0.60		-		
2 界壁遮音性能				1.0	0.40		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-		-		
1.3 吸音				1.0	0.20		-		
2 温熱環境				1.3	0.35		-		1.3
2.1 室温制御				1.7	0.50		-		
1 室温				3.0	0.38		-		
2 外皮性能				1.0	0.25		-		
3 ゾーン別制御性				1.0	0.38		-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20		-		
2.3 空調方式				1.0	0.30		-		
3 光・視環境				1.2	0.25		-		1.2
3.1 昼光利用				1.8	0.30		-		
1 昼光率				1.0	0.60		-		
2 方位別開口					-		-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40		-		
3.2 グレア対策				1.0	0.30		-		
1 昼光制御				1.0	1.00		-		
3.3 照度				1.0	0.15		-		
3.4 照明制御				1.0	0.25		-		
4 空気質環境				2.0	0.25		-		2.0
4.1 発生源対策				3.0	0.50		-		
1 化学汚染物質				3.0	1.00		-		
4.2 換気				1.0	0.30		-		
1 換気量				1.0	0.33		-		
2 自然換気性能				1.0	0.33		-		
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.33		-		
4.3 運用管理				1.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視				1.0	0.50		-		
2 喫煙の制御				1.0	0.50		-		
Q2 サービス性能				-	0.30		-		2.1
1 機能性				1.4	0.40		-		1.4
1.1 機能性・使いやすさ				1.0	0.40		-		
1 広さ・収納性				1.0	0.33		-		
2 高度情報通信設備対応				1.0	0.33		-		
3 バリアフリー計画				1.0	0.33		-		
1.2 心理性・快適性				1.3	0.30		-		
1 広さ感・景観				1.0	0.33		-		
2 リフレッシュスペース				2.0	0.33		-		
3 内装計画				1.0	0.33		-		
1.3 維持管理				2.0	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計				2.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				2.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				2.6	0.30		-		2.6
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				1.0	0.20		-		
1 空調・換気設備				1.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				1.0	0.20		-		
3 電気設備				1.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				1.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				1.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			2.8	0.30		-	-	2.8
3.1 空間のゆとり			4.2	0.30		-	-	
1	階高のゆとり	南棟の階高さを大きくし、内部空間の天井高さの確保	5.0	0.60		-	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40		-	-	
3.2 荷重のゆとり			2.0	0.30		-	-	
3.3 設備の更新性			2.4	0.40		-	-	
1	空調配管の更新性		2.0	0.20		-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	-	
5	設備機器の更新性		1.0	0.20		-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40		-	-	1.9
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30		-	-	1.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50		-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		1.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-		-	-	2.7
LR1 エネルギー			-	0.40		-	-	3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m = 0.46	5.0	0.20		-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.76	3.4	0.50		-	-	3.4
4 効率的運用			2.0	0.20		-	-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00		-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50		-	-	
集合住宅の評価			-	-		-	-	
4.1	モニタリング		-	-		-	-	
4.2	運用管理体制		-	-		-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	-	2.2
1 水資源保護			2.2	0.20		-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60		-	-	2.4
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.11		-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22		-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22		-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.22		-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-		-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.22		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			1.9	0.20		-	-	1.9
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			1.5	0.70		-	-	
1	消火剤		-	-		-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		1.0	0.50		-	-	
3	冷媒		2.0	0.50		-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	-	2.3
1 地球温暖化への配慮		LCCO ₂ 排出率 = 89%	3.4	0.33		-	-	3.4
2 地域環境への配慮			2.3	0.33		-	-	2.3
2.1 大気汚染防止		燃焼機器は使用しない	5.0	0.25		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			1.0	0.50		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25		-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25		-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25		-	-	
3 周辺環境への配慮			1.3	0.33		-	-	1.3
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			1.0	0.40		-	-	
1	騒音		1.0	0.50		-	-	
2	振動		-	-		-	-	
3	悪臭		1.0	0.50		-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			1.6	0.40		-	-	
1	風害の抑制		1.0	0.70		-	-	
2	砂塵の抑制		-	-		-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20		-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70		-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート






■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	文化財等保管施設の賃貸借	BEE	0.3	BEEランク	★
------	--------------	-----	-----	--------	---

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.4	+	1.0	=	4.4 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.4
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.4
<配慮した内容を記述>			
・建物の断熱性を高め、又全熱交換機を設置し建物内の熱負荷を減少させた。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	1.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	1.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	1.0
<配慮した内容を記述>			
・周辺の景観、環境を配慮して、敷地内にバランス良く可能な限り緑地帯を設けた。			

 : 入力欄